

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1 国際理解分野

本校には、オーストラリアと台湾に姉妹校があり、本年度も、姉妹校との交流を中心に、日本文化や名古屋の文化の紹介、オーストラリア・台湾の文化の理解を深める学習を行った。また、本年度は新たにマレーシアの科学高校と姉妹校提携を結び、国際交流の機会を増やすことができた。

(1) 異文化理解に関する学習

国際経済科の授業において、日本文化の理解、オーストラリア・台湾の文化・歴史等の学習を実施した。

(2) テレビ会議システムを活用した合同授業

本校に導入されているテレビ会議システムを活用して、姉妹校と相互に、自国の文化や自校の紹介を英語で行った後、質疑応答を行うという形式により合同授業を実施した。

5月11日、13日、24日 チェリーブルック工科高等学校（オーストラリア）

(3) 外国の高校生との交流

本年度は、下記の3か国4校の生徒とこうりゅうした。

4月14日～18日 チェリーブルック工科高校（オーストラリア）

10月31日 「JENESYS2.0」 2016年度中国高校生訪日団第2陣

山西大学附属中学校、太原市第二外国語学校

11月1日～2日 高雄市立高雄高級商業職業學校（台湾）

11月21日 ケパラバタス科学中等学校（マレーシア）

授業を一緒に受けたり、互いに自国の文化を英語で紹介したりするなど交流を深めた。また、日本文化の紹介を兼ね本校茶道部によりお点前を披露した。台湾の高雄商業の生徒には、名古屋の観光案内を行い、名古屋の紹介をした。

(4) 英語によるプレゼンテーション大会への参加

① World Youth Meeting 2016

8月7日・8日に日本福祉大学東海キャンパスにて、World Youth Meeting 2016 が開催されました。国内外の高校や大学から合計32チームが参加しました。本校は、姉妹校である高雄市立高雄高級商業職業學校（台湾）と、鼓山高級中學（台湾）とそれぞれチームを組み、英語によるプレゼンテーションに臨みました。

名古屋商業&鼓山高級中学チームは、「How to build our peaceful future」というタイトルでプレゼンを行い、現代における国際紛争や人種差別、テロといった問題を取り上げ、自分たちにできる解決策について発表しました。名古屋商業&高雄商業チームは「Aging Population」というタイトルで、世界で進んでいる高齢化によって各国はどのような問題を抱えているのか、現在の傾向と将来への備えを明らかにしながら、世界の人々が協力して解決するためにできることについてプレゼンテーションを行いました。

② ASEP (Asian Student Exchange Program 2016 in Taiwan)

平成28年

ii) 参加クラス 3年4組 国際経済科 (7名)

iii) 学習内容

12月24日～29日、台湾高雄市で開催されたAsian Student Exchange Programへ参加した。本年度は、姉妹校の高雄商業との合同チームと中正工業との合同チームの2チームが「文化」をテーマに英語によるプレゼンテーションを行った。事前準備では、TV会議やSNSを活用して相手校の生徒たちと意見交換を重ねながら自分たちの発表の概要を決め、現地では限られた時間の中で協議を重ね話すスピードや間、視線、立ち位置、ジェスチャーなどの細かい部分を決めていった。

(5) 台湾修学旅行

1月17日～20日にかけて、国際経済科2年生が台湾へ修学旅行に出かけた。台湾では、分散研修、姉妹校訪問等を通じて、異文化理解を深めた。

2. 環境・生物多様性分野

藤前干潟の“葦”という植物と自然環境との関係について学習を進め、「水資源・水環境の重要性」と「生態系の保護」が課題であると生徒が認識するようになった。藤前干潟の“葦”をビジネスに取り込み、エコロジーとビジネス活動と連動させるといふ、環境保全活動を産業として確立させるといふ研究を始めた。具体的には、刈り取られた“葦”を原料とした商品を開発し、販売するといふビジネスモデルの研究を行った4種の商品を誕生させることができた。それと同時に、エコロジカルな活動に楽しく気軽に参加できるような雰囲気を生み出すべく、工作教室の開催やアニメーションの制作に取り組んだ。

具体的な活動は以下のとおりである。

5～6月：縫製委託業者の選定と製品試作

少量生産でも低価で縫製を委託する団体を探し、結果として名古屋刑務所をお願いすることにした。

日本水大賞受賞式参列。

7月：葦布の品質鑑定

尾張繊維技術センターに「寸法変化率試験」、「堅牢度試験」を依頼し、その結果は良好で、実際に流通している繊維製品と比べても遜色のないものであった。

8月：生徒商業研究発表大会での発表

「第11回愛知県高等学校生徒商業研究発表大会」に出場し、第3位。「第10回東海地区高等学校生徒商業研究発表大会」出場、優良賞を受賞した。

9～11月：ワークショップ・セミナー等への参加

「環境デーなごや」「愛知県ユネスコスクール交流会」「藤前干潟ふれあい事業」等で、葦をテーマとしたワークショップを開催した。

1月：流通チャンネルの構築

中部国際空港「セントレア」の出発ロビーに出店している土産物店に、生徒の開発した商品が陳列・販売される。

2月：愛知環境賞に応募

生徒の研究成果を愛知環境賞に応募し、「優秀賞」を受賞する。

3. 地域への貢献活動

(1) 地域の菓子店と連携した商品開発

